

## Curriculum Vitae

### Name

かんのじゅん  
菅野 純

国立医薬品食品衛生研究所  
安全性生物試験研究センター毒性部長

1981年 東京医科歯科大学医学部医学科卒業、  
1985年 同大学大学院医学研究科博士課程修了、人体病理学、実験病理学専攻。  
1986年～ 同大学医学部病理学第二講座助手。1991～NIH 客員研究員（実験病理学）として研究に従事。  
1995年～ 東京医科歯科大学医学部感染免疫病理学講座文部教官講師。  
1997年～ 国立医薬品食品衛生研究所毒性部室長、  
2002年より現職。



分子生物学的基礎研究、関連する動物実験、内分泌かく乱化学物質・ダイオキシン問題、急性毒性等、毒性学の新しい問題に関わる諸課題について試験法開発、主に内分泌に関連した分子毒性学的研究に力を注ぎ、OECD による子宮肥大試験バリデーションプロジェクトのリードラボラトリーの実務面を担当。

国立衛研と民間企業等による産学官共同「創薬」トキシコゲノムプロジェクトの立ち上げ及び精度管理に携わった。2003 年に化学物質リスク評価の基盤整備としてのトキシコゲノミクスプロジェクトを、2005 年に経気道暴露による毒性評価手法の開発研究、トキシコゲノミクス (Percellome) プロジェクト実施。

子どもへの健康影響研究を立ち上げに参画するなど、受容体原生毒性（内分泌かく乱化学物質問題）等の分子毒性学的研究、発がんナノマテリアル安全性研究など、化学物質安全対策に関連する毒性研究を推進している。また、総合科学技術会議環境分野化学物質イニシャティブ総合管理技術研究、WHO/IPCS（国際化学物質安全性計画）、OECD/EDTA 等に関与している。

また、アジアトキシコロジー学会の理事(ASIATOX council member)、国際トキシコロジー学会の副会長 (IUTOX Vice President) を務める。（専門：病理学、分子毒性学）